



天橋立名松リバーズ
だより

No. 8
2005年
8月25日発行
編集・発行
天橋立名松リバーズ
実行委員会事務局

〒626-0000
京都府宮津市文珠4-3-7
天橋立総合事業(株)内
TEL 0772(22)53004
FAX 0772(22)53005
http://www.tane.or.jp/re-birth/

天橋立の倒木松が、今よみがえる！

(8月6日 智恩寺境内・7日 籠神社境内 於)

龍灯アートコンテスト、好評裡に開催

リバーズ創作事業の第一弾として、8月6日(土)～7日(日)の両日、待望の天橋立龍灯アートコンテストが開催されました。地元はもとより、京都・大阪・神戸・大津市や三重県からも応募作24点が寄せられ、いずれの作品も心のこもった力作ばかりでした。8月6日 午後7時30分より点灯式が行われ、吉岡均二審査委員長の下、左記の作品が表彰されました。応募いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

最優秀賞



松田 玲さん(三重県菟野市)



瀬戸 毅さん(宮津市)



小丸京子さん(宮津市)



為村純三さん・恵美子さん(岩滝町)

奨励賞(7作品)



永岡基夫さん(京都市)



吉田三千穂さん(宮津市)



速石正弘さん(宮津市)



葉山 勉さん(大津市)

再生への願いともる

台風倒木 天橋立の松灯ろう展示

智恩寺

2005年8月7日
読売新聞掲載(縮小)

あなたは、天橋立名松リバーズ龍灯アートコンテストにおいて、その趣旨をよく理解し、豊かな感性と技を発揮され、松の質感を充分に活かした作品を製作し、倒れた松を見事に再生されました。悲鳴をあげ倒木した天橋立の名松がきつと喜んでくれていることと思います。あなたのご尽力に感謝の念を捧げるとともに、これを表彰いたします。ありがとうございます。

天橋立名松リバーズ
実行委員会

昨年10月の台風23号で倒れた天橋立の松の一部が30個の灯ろうに生まれ変わりました。6日、地元・宮津市の智恩寺で展示会が行われた。市民グループ「天橋立名松リバーズ実行委員会」がデザインを募集し、書類選考を通った地元や京阪神などの学生、芸術家ら30人が制作。幹のカーブを波に見立てた作品や、五重塔をかたどった作品などがあり、松はく本分が使われた。幾世淳紀実行委員長(62)は「松の再生への願いがこもった力作ばかり。点灯される瞬間が感動した」と話していた。7日は同市大垣の元伊勢籠神社で行われる。午後7時30分から10時まで。



暗闇に光を放つ灯ろう。境内は幻想的な雰囲気に包まれた(宮津市文珠の智恩寺で)

灯籠橋立の町染める

宮津・府中

台風で倒れた松も生かし1200基



優しい光を放つ約1200基の灯籠が並べられた府中地区の町並み (宮津市大垣)

「心・ルネッサンス天橋立実行委員会」が企画。「宵灯」と題したこの日は、昨年の台風23号で倒れた天橋立の松で作った灯籠二百基と、竹灯籠千基を用意。元伊勢籠神社境内や市・府道沿いに並べられた。午後六時半、千二百基の灯籠が一齐に点灯すると、まちを歩く

観光客らは「まあ、きれい」などと声を上げ、うっとりした表情で眺めていた。また、同市文珠の智恩寺では「天橋立龍燈アートコンテスト」(天橋立名松リパス実行委主催)の作品発表展示会も始まり、倒木松を使って五重塔や竜を表現した灯籠作品二十四点の明かりが境内を照らした。両イベントは七日も開かれ、作品展示会場は籠神社に移る。

籠灯アートコンテスト発表会
応募者のみなさん！力作をありがとうございました。
次回は、一般創作です。又、応募よろしく願います。

「府中・竹彩」が8月6～7日に開催されました。親子でつくった1200基の灯籠や、竹彩でつくった天橋立は幻想的な美しさで、見る人を圧巻していました。

観光客ら「きれい」

日本三景・天橋立を望む「府中・竹彩」が六日夜、む宮津市府中地区の町並みで始まった。時折、雨の降るあいにくの天気だった。観光客らを楽しませる地域活性化イベントが、灯籠の放つ優しい光で地元住民らでつくる

2005年8月11日 朝日新聞掲載(縮小)



8月7日(日)「府中・竹彩」府中小学校 於

府中小学校校庭に1200基の灯籠が並び、天橋立の松も生かして、その美しさに圧倒された。「心・ルネッサンス天橋立実行委員会」のみなさん、ありがとうございました。

宮津の瀬戸さんら 奨励賞に選ばれる

天橋立龍灯アートコン

2005 朝日新聞 8/11

昨秋の台風23号で倒れた天橋立の松を使い、灯籠の芸術作品の制作を募集した「天橋立龍灯アートコンテスト」(天橋立名松リパス実行委員会

主催)の作品発表展示会が6、7の両日夜、宮津市内であった。府内を中心にデザインの応募があり、書類審査を通った約30人に松材を送り、24点の作品が届いた。行灯や五重塔、モダンにスライスした松材を重ねた作品などで、6日は智恩寺本堂前の参道、7日は籠神社境内で並べられ、点灯された。審査結果は最優秀のグランプリに松田玲さん(三重県菟野町)▽奨励賞に永岡基夫さん(京都府)、瀬戸毅さん、吉田



参道両脇に並べ点灯された天橋立龍灯アートコンテストの参加作品。宮津市文珠の智恩寺で

三千穂さん、小丸京子さん(大津市)、為村純三さん、速石正弘さん(以上岩滝町)の7人が選ばれた。

天橋立の倒木松 京の五山の送り火で供養

大文字保存会のみなさん、
ありがとうございます



8月8日 大文字保存会へ



銀閣寺 於



智恩寺住職
萩原頼士さま書



大文字保存会役員のみなさんと話し合い
(京都・大文字保存会事務所於)



←大文字保存会の役員さんから、
供養していただいた天橋立の松
の炭をいただきました



護摩木に戒名や願い事を書き込む人たちが15日午後、京都市左京区・銀閣寺門前



8月16日



五山送り火(十六日)を前に、
京都市左京区の「大文字保存会」
は十五日、同区の銀閣寺前で、送
り火に使う護摩木の受け付けを始
め、市民らが祖先への感謝や願い
事を筆で書き込んだ。昨秋の台風

願い込め護摩木奉納

送り火控え保存会

23号で倒れた天橋立(宮津市)の
クロマツも「供養」のため、護摩
木として並べられた。
曇り空で猛暑がいくぶん和らい
だこの日、受け付けが始まる正午
前にはすでに銀閣寺門前に設置さ
れたテント前に護摩木を求める人
々の長い列ができた。
訪れた人たちは先祖の戒名や
「心願成就」「病氣治癒」などの
願い事を書き込んだ。伏見区の柳
本高久子さん(モ)は「昨年十三
回忌を迎えた両親の戒名を書い
た。送り火で精霊を送りたい」と
話していた。
天橋立(宮津市)のクロマツは
先月下旬、地元有志が、倒れた
百九十三本のうち二本を細く割
り、護摩木にした。集まった護摩
木は、すべて十六日に山上の火床
に運んで燃やす。十六日も午前六
時から午後三時ころまで受け付
ける。

丹のへん

2005.8.3
連日の酷暑とともに、台風の
話題が気になるシーズンとなっ
てきました。昨年十月、府北部
を襲った台風23号による被害
は、宮津市、舞鶴市、大江町
などで死者十五人に及ぶ惨事
となり、普段からの防災の徹
底をあらためて教えられまし
た。

地域互助の心

しかし、そうした災禍にめげ
ず、「地域に元気を」と、
新たな活動が身生えている
詳細を知って感激したこと
があります。日本三景・天橋立
(宮津市)の松並木の再生活動
のことで、台風23号では、文
校長が outgoing、趣旨に賛同。同
校の映像彫刻などを専攻する学
生たちの力で、松を素材に伝統
工芸品を制作し、完成品を地元
へ還元しよう、との計画がまと
まったのです。

同市では旅館、土産物店など
を営む市民らが結束。「天橋立
名松リバーズ実行委員会」(委
余が宮津市へ駆けつけ、伝統工

員長・幾世淳紀委員長)を発足 芸士の須藤光昭教授と松の一本
させ、多様な企画を打ち出して 一本に目を通し、木を選んだの
いました。北近畿タンゴ鉄道のは、六月下旬、同市文珠の智恩
天橋立駅前に空き店舗を利用 寺にちなみ、文殊菩薩像や観音
し、五月末に開設させた「天橋 像に仕上げて来年の完成を目指
立名松リバーズ館」もその一つ。 すとしていきます。さらに松の一
は、宮津市、舞鶴市、大江町 ほか、多彩なオブジェが並ぶ新 の大文字送り火(八月十六日)
など死者十五人に及ぶ惨事 たな観光拠点を誕生させておっ にも活用する計画が進んでいる
となり、普段からの防災の徹 れたのです。 ようです。

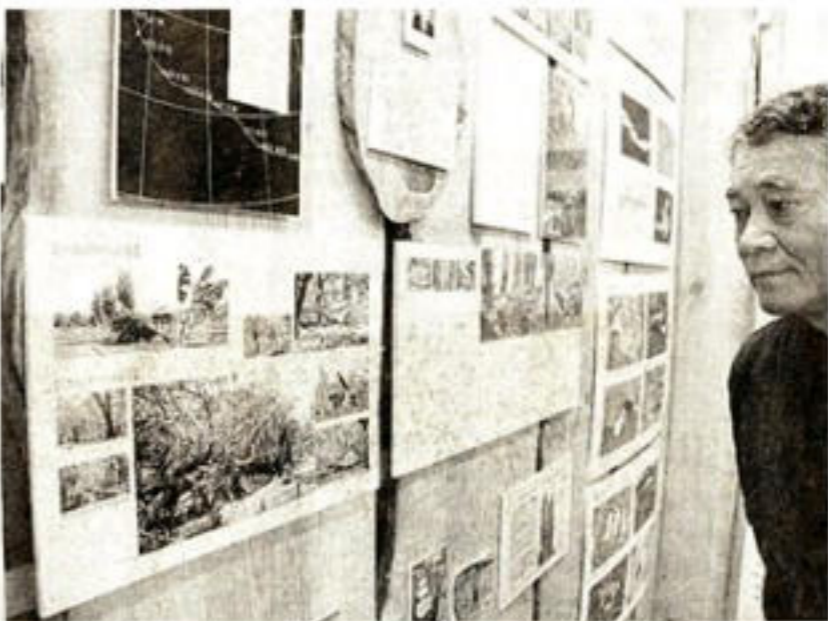
さらに、一層の松の再利用を いずれも実現すれば、地域間
呼び掛けていたところ、応じた のきずなが実を結んだ快挙で
のが京都伝統工芸専門学校(園 す。災害が起これば、「困った
部町小山東町)でした。幾世委 時はお互い、助け合い」と
員長のところへ松村賢治・同校 古来から言ったもの。今回
の赴任地でもあり、関係者を知 は、まさに「地域互助の心」
る私としても思わず胸が熱くな りました。

「若い学生たちが再生活動に 立ち上がってくれたことがうれ
しい。松もきつと喜んでいては
ず」。幾世委員長が澄んだ瞳を 輝かせて話した言葉が印象に残
っています。

園部支局長 林 実

シンボル再生へ住民ら交流

台風被害の天橋立の松と北大のポプラ並木



北大のポプラ並木再生事業を紹介したパネル
(宮津市文珠 天橋立名松リバース館)

互いの活動を 紹介、情報交換

昨年秋の台風で多くの松が被害を受けた日本三景・天橋立(宮津市)の地元住民と、ポプラ並木がなぎ倒された北海道大(札幌市)が、共に「シンボル」の再生を目指す仲間として、交流を始めた。互いの活動内容をパネル展示などで紹介、再生に向けてのアイデアなどを情報交換していく。

トピックス・朗報!

8月21日、北海道の工芸のまち・置戸町 森林工芸館 北山館長より、倒木した松材を少し送って欲しいとの連絡が入りました。天橋立の松材にチャレンジして、創作して寄贈したいとのこと。早速、松材管理部会の手で送ることにしました。今からどんな創作ができるか楽しみです。先月7月27日に北見地方置戸町まで現地視察し、交流してきたことが今回、創作として実りつつあるのが何より嬉しい限りです。早速、パイプ役になっていただいた北海道大学に報告しましたが、とっつてもよるこんでおられました。

エゾ松、とど松の樹木に囲まれた置戸。この街で生まれたオケクラフトは、作り手の個性と技がさえわたり、美しく刻まれた木目には、一つとして同じ物がありません。



森林工芸館
オケクラフト



北大のポプラ並木は、全長約二百五十メートルの道の両側に計五十一本あり、観光スポットとして人気を集めていた。昨年九月の台風18号では、ポプラ二十本が倒れた。若木を移植するとともに、学生や市民らが、ベンチや楽器などへの倒木の再利用に取り組んでいる。天橋立の松の再利用

用を目指す天橋立名松リバース実行委員会(幾世淳紀委員長)のメンバーが六月に北大を訪れ、活動を見学した縁で、交流が生まれた。倒れた松を使った造形品の展示施設・天橋立名松リバース館(宮津市文珠)では、ポプラ並木の再生事業を記したパネルを展示。北大でも

昨秋台風被害

天橋立の松並木 北大ポプラ並木 シンボル再生へ協力

昨年秋の台風で日本三景の松並木が大きな被害を受けた宮津市の天橋立と、ポプラ並木がなぎ倒された札幌市の北海道大学が、シンボルの再生を目指すし、協力することに

なつた。お互いの再生活動拠点に、相手の被害状況や取り組みを紹介するコーナーが設けられ、情報交換していく。天橋立は昨年10月の台風23号で約5千本の松の

うち193本が倒れた。北大のポプラ並木は同9月の台風18号で51本中19本が倒壊した。天橋立は今年5月に倒木松を活用する「天橋立名松リバース館」、北大は6月に再生活動を紹介する見学施設が完成。7月末にリバース館関係者が北大を訪れ、交流した。

リバース館に設置された北大コーナーでは中村睦男学長のメッセージを紹介、被害状況や倒木モニュメント、倒木利用のベンチや楽器などの作品を写真で紹介している。リバース館を運営する幾世淳紀・実行委員長は「シンボルの再生に地域がどう取り組んでいくかアイデアを出し合って交流を深めたい。北大が持つ林業に関する学問的な知識の情報にも期待している」と話している。

北海道大学のポプラ並木再生計画を紹介する天橋立名松リバース館のコーナー 宮津市文珠で

松材利用した創作活動の場に

宮津市 文珠 「天橋立名松リバーズ館」が開館

昨秋の台風23号で倒れた天橋立の松の再生運動に取り組んでいる「名松リバーズ」(幾世淳紀会長)はこのほど、宮津市文珠のKT



オープンした「天橋立名松リバーズ館」(宮津市文珠)

R天橋立駅近くに活動をPRするための「天橋立名松リバーズ館」を開設した。

天橋立の松並木は約5千本の松があったが、昨秋の台風23号の直撃を受け、このうち193本が倒れた。倒木の中には樹齢約300年の「熊村の松」や幹の直径が1m以上もある「双龍の松」などもあり、関係者は大きなショックを受けた。

そこで、倒木を捨ててしまつのは忍びないと昨年11月、地元の有志や観光関連業者が中心となり同実行委員会を設立し、倒れた松材を使ったイベントなどを企画してきた。

天橋立名松リバーズ館はこれらの活動を多くの人に知ってもらうとともに、松材を利用した創作活動の場にも利用してもらおうと開設した。

建物は天橋立総合事業(株)(山本大八朗社長)所有の3階建てで、このうち1、2階合わせて約120㎡をリバーズ館とした。内装は松材を使用し

ており、工事は同委員会のメンバーが手弁当で行ったという。

1階には今年4月に天橋立で開催されたイベントでプロのチェンソーアーティストが作ったトラ、フクロウ、クマの彫刻が置いてあるほか、縦25cm、幅10cmほどの楕円形の松材に書かれた、片岡鶴太郎さんや作家の藤本義一さん、難波利三さんなど有名人からのメッセージも飾ってある。

このメッセージボードと同じ大きさの松材も多く置いてあり、これは活動を支援するための募金に協力すればもらえる。

2階は創作館と名付けられた場所で、電動糸のこや絵の具などが用意されている。ここでは将来、DIY教室や小学生を対象にした木工教室を開く計画。絵の具は自由に使用でき、ここでメッセージボード用の松材に絵や文章を書くこともできる。

ボードに直接切手をはればオリジナルのハガキとしても活用可能で、施

設の向かいにある天橋立郵便局から旅先の思い出として送ることもできる。郵送料は140円前後。

今月末にチャリティコンサート

宮津会館で

一方、同委員会では、これらの活動の資金調達を目指し8月31日、午後7時30分から宮津市島崎の宮津会館で「天橋立名松リバーズチャリティコンサート」を開く。

同市出身のフラメンコギタリスト、尾藤大介さんやジャズ歌手の神山慶子さんが出演。入場料は3千円で一部はリバーズ基金への寄付となる。問い合わせは、同実行委員会事務局の天橋立ビルランド(☎0772・225304)へ。(塩見)

ただ今、名松リバーズ・ボランティアを募集しています！

これから本格的なリバーズドラマがはじまります。こんなことを一緒にしませんか……？

- ・ リバーズ館での来訪者のごあんない
- ・ スライスされた松材に、Rの焼印を押すしごと
- ・ 倒木松を炭にする→松が元気になるためのしごと
- ・ リバーズ館運営のお手伝い
- ・ 創作(工作、絵、童話など)のお手伝い
- ・ 松がよるこぶこと いろいろ……
- ・ その他



※ 事務局へご一報ください。待ってます!!

第4回 樹のお医者さんのお話

「松が元気に育つために……」

悲鳴をあげ倒れた松は、私たちに何を伝えたかったのか



- ・ と き 9月22日(木) 午後7時30分より
- ・ ところ 宮津商工会議所 会議室
- ・ 講師 伊藤 武先生(京都樹木医会会長)

■ 天橋立名松リバーズ 応援メッセージが届きました

料理の鉄人 大田忠道氏



天橋立の名松の命：自然災害とはいえ、日本三景として有名であり、私も何度も訪れたすばらしいこの天橋立の風景が、一瞬にして絶えた姿を見た時は、大変心苦しく、直視できませんでした。昔から、松は器を焼くのに使い、縁起が良いのでお正月から用います。松茸は最近では日本ではあまり収穫できず、外国産の物が多く出回っており、寂しさを感じます。松は日本人にとって深い関係があり、一刻も早い復元をお祈りしますと共に、自然を愛する者として、私にできる限りの協力を惜しみません。

※【料理の鉄人】大田忠道氏

料理の鉄人「天地の会」会長、神戸マイスター日本料理教授、兵庫県日本調理技能士会会長など多くの公職を兼務。大学、専門学校、高校で講師も務める。1945年生まれ。

8月31日まであとわずか

・前人気 頂点へ向けて沸騰中！

リバーズチャリティ
コンサートを
成功させよう！！

みなさん！楽しみのジョイント
コンサートが、いよいよあと一
週間後となりました。
多くの市民の方に参加いただき
ため、最後の詰めをよろしくお
願います。
みんなの思いを一つに感動的且
つ、楽しいコンサートにしよう！

松の再生

昨年の台風23号で倒れ 歌手の神山慶子さんによ
た日本三景・天橋立（宮 津市）の松再生に収益金 コが披露される。

を役立てようと、地元有 ショーでは、神山さん
志が三十一日に、チャ が同曲のほか、ピートル
リティーコンサートを編 ズメドレーなど十曲 宮

31日、慈善コンサート 宮津

31日に開かれるチャ
リティコンサート
のポスター



2005年8月18日 京都新聞掲載(縮小)

天橋立名松リバーズ基金
ご協賛ありがとうございました

- ・大歳昌彦さま (京都市) 五万円
- ・智恩寺さま (文殊) 拾萬円
- ・(株)日引商事さま (宮津市) 拾萬円
- ・山城園、杉さま (京都市) 五万円
- ・片山勝彦さま (文殊) 二万五千元
- ・森山弘さま (芦屋市) 五万円
- ・吉田三千穂さま (文殊) 五千元
- ・小丸京子さま (宮津市) 五千元
- ・上家透さま (宮津市) 五千元
- ・貞千代旅館
- ・望月さま (東京都) 一万円
- ・竹中浩さま (京都市) 一万円
- ・梅川尚英さま (京都市) 五千元
- ・前川咲夫さま (京都市) 二万円
- ・高橋睦夫さま (京都市) 二万円
- ・宮本正樹さま (大津市) 一万円
- ・吉岡均二さま (宮津市) 二万円
- ・西垣哲夫さま (宮津市) 三万円
- ・旅行作家の会さま (東京都) 三万円
- ・文珠繁栄会 拾萬円



第9回 実行委員会 2005.8.3



「やわらかな龍」神戸市 高橋博樹氏 作
(京都伝統工芸専門学校 学生)

編集後記

天橋立の松が倒木後、約10ヶ月、みなさんと共に一生懸命
取り組んできた名松リバーズも、龍灯アートコンテスト発
表会を経て、いよいよ本格的なドラマとなってきました。
これからも楽しいことはいっぱいおもしろく、しんどいこと
も楽しくやりますよ！

事務局 日誌

8月1日(月) 名松リバースだより No.7 発刊

3日(水) 第9回 天橋立名松リバース実行委員会

5日(金) 龍燈アートコンテスト 智恩寺境内準備・展示

6日(土) 龍燈アートコンテスト 審査発表 展示(智恩寺於)・撮収

7日(日) 府中地区にて竹彩(たけいろ)

龍燈アートコンテスト 展示(龍神社於)・撮収(リバース館へ)

8日(月)

京都五山の送り火用松明 京都 銀閣寺へ搬入
大文字保存会 井上理事長 長谷川副理事長 ほか受入
幾世委員長 中井副委員長 松井・稲葉 両部会長

京都府へ報告 京都府土木建設部長 辻本商工部長 公園緑地課佐藤課長 他

陸橋下(京都縦貫自動車道入り口) 松材保管場所 許可承認連絡

10日(水) コンサートチケット 中間締め

13日(土) 松枯れ予防ネットワークより取材依頼

15日(月) 京都造形大学 前田教授 学生3名 リバース館視察

16日(火) KBS京都チャンネル他 五山の送り火テレビ中継取材 幾世委員長

宮津燈籠流し花火大会 龍燈アートコンテスト優秀作品出展

17日(水) 加悦町商工会青年部 勉強会 リバース講師 細井部会長

20日(土) 正副部会長会議

21日(日) 北海道 釧路町 オケクラフトセンター 森林工芸館 北山館長より天橋立の
倒木松を送付の依頼(作品を作り、贈呈する)

チャリティコンサート 打ち合わせ会

22日(月) 雑誌「るるぶ」取材

25日(木) 第10回 天橋立名松リバース実行委員会

名松リバースだより No.8 発刊

27日(土) 名松リバース チャリティJAZZコンサート
智恩寺於(丹の風主催)に協賛

31日(水) 尾藤・神山ジョイントチャリティコンサート(宮津会館)

今後の予定

9月13日(火)

日本三景展 京都文化会館(京都市中京区)於

10月16日(日)